

平成21年度一般会計予算・特別会計予算を審査 =予算審査特別委員会=

平成21年度一般会計予算および4特別会計予算は、議員全員による予算審査特別委員会を設置（長谷川秀樹委員長・山田秀明副委員長）し、3月16日から18日まで3日間にわたり審査されました。審査における主な質疑は次のとおりです。

【総務費】

(質問) 普通財産管理事務費

が前年より大幅に増額となっているが、町有住宅解体費用と理解してよいのか。

(答) 中央駐在所の裏にある教員住宅の解体費用が入っている。

(質問) 一般管理費の臨時職員賃金が前年より大幅に増額となっているが。

(答) 通常の臨時職員のほかに、定額給付金事務に係る臨時職員の賃金を含んでいる。

(質問) みどり区の町有住宅2棟8戸は公営住宅扱いとなるのか、管理が十分行き届いていないように見受けられるが。

(答) 町有住宅として管理している。公営住宅との違いは、あくまで町政執行のために必要な方に入居していただくので住宅困窮者を対象とした住宅ではない。

(質問) 区長会から、まちづくり懇談会を2年に1回開催との申し出があったとのことであるが納得がいかない。特に本年は二次補正等の予算付けがある中で、住民に知らされずに執行されるのでは町民の理解が得られないのではな

いか。

(答) まちづくり読本を懇談会のかわりとしたい。今年4月中に配布し、その中で20年度の二次補正についても詳細に理解いただけるよう掲載したい。

(質問) 各行政区単位でまちづくり懇談会の要望がある場合、それに応えてもらえるのか。

(答) 町の方で日程を組むことはしないが、要望がある行政区には対応する。

(質問) 将来、各行政区に一人ずつ配置したいという防災士の役割と狙いは。

(答) 今まで、色々な方法でまちづくり人材育成事業を実施してきたが、積極的に研修に取り組まれる方が少なかった。今回は町内で盛り上がりつつある自主防災組織、高齢化に伴う自主防災組織の必要性に鑑み、各行政区に計画的に防災士を配置したいとの考えから4人分の研修予算を計上した。

(質問) 地域公共交通活性化事業について、老人クラブ等に説明することがより効果的だと思うが。

(答) まちづくり懇談会では

なく、各福祉団体や産業団体に説明する。また、要望があればその他団体等でもレインボー講座により実施する。

(質問) みどり区にある道路標識が変色して判別しづらいため、対応してもらいたい。南4号線と西1線交差点の停止標識は夜間見やすく出来ないものか。



(答) 道路標識は公安委員会の所轄になっているので要請していく。

(質問) 備荒資金を1億円積み増しするが、いくらまで増額する計画なのか。

(答) 本来は災害時の緊急費用に充てる目的で積み立てしているが、平成23年度にダム関連事業の償還に充てる予定

である。ある程度残高を維持しなければ災害時に対応できないため、平成22年度も同額を積み立てる計画である。

(質問) ダム関連の負担金が突然出てきたように思うが、償還について関係する4自治体が同じ対応をしようとしているのか。

(答) 平成20年度補正の中で債務負担行為の議決をいただいている。浦臼町・月形町については承知していないが、雨竜町は一般財源から5億円近い額を既に納付している。

(質問) 中央地区街路灯を防犯効果のある青色発光ダイオードに更新してはいいか。

(答) 現在は計画していない。街路灯管理組合で更新計画の意向が出された段階で検討する。

(質問) 特定財源で国から国民投票人名簿作成事務委託金は何のためにくるのか。

(答) 国民投票については、憲法改正に伴う投票で全額が国の負担である。

【民生費】

(質問) 緊急通報システムによって、独居高齢者の定期的な安否も確認されるのか。